

平成21年度

施政方針

“エコの町 大磯 を目指して”



三好町長は2月20日の町議会本会議で、平成21年度の施政方針演説を行ない、元気な大磯町をつくるために財源の確保に努め、積極的な予算を組み町民の皆様に還元するとの考えを表明しました。

施政方針の詳細は町民情報コーナー、町ホームページで閲覧できます。

◎問い合わせ 政策課 ☎内線204

町政運営の基本的な考え方（抜粋）

環境に配慮したまちづくり

環境に配慮したまちづくりは、この4月からスタートする新しい機構のもと、従来の方法にとらわれない町民の目線に立った、新たな発想と感覚をもち、特に「環境」「観光」「教育」の三本柱を重点的に取り組んでいきます。

環境対策は、既に地球規模の問題となつていますが、私たちにも問題解決の一翼を担うことができる、身近な問題であります。

町では「エコの町 おおいそ」を目指し、対策と啓発に取り組んでいきます。町民の皆様と一緒に進め、美しい自然や快適な生活環境を作り、残していきたいと強く思いをいたしています。

重点事業としては、電気自動車及びハイブリッ

ト自動車を公用車として導入、電気自動車用の急速充電器を設置、住宅用太陽発電設備設置の助成制度を新たに設けます。

観光は、機構改革で観光推進室を設置し、大磯の歴史的・文化的な資源や自然を町内外に今までの以上にPRをし、多くの

方に大磯を新発見・再発見していただけるきっかけ作りを積極的に推進します。さらに大磯港の指定管理を始め、港の活性化、観光拠点化を進め、観光立町を目指します。



▲町の歴史文化資産・旧吉田茂邸



▲町が指定管理を始める大磯港

教育の分野では、教育施設の整備として、耐震

改修を進め、耐震化率100%を達成します。また、学校図書や米飯給食の充実などソフト面についても積極的に進めてまいります。

引き続き西部地区の基盤整備を推進し、葛川左

岸道路、幹線28号線の歩道、国府本郷西小磯1号線等の整備を実施します。

【新しい事業は3ページに掲載】